



ほんものを たべよう

提出日	9/ 17 18 19 20
配達日	9/ 24 25 26 27
翌々週配達日	10/ 1 2 3 4

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

Alter Weekly Order Catalogue

2013. 9月4 週号

干物袋 SUNBAG

ふとん乾燥に優れた「サンバグ」

ダニ退治にたいへん有効、花粉症でも安心
急な雨にもふとんがぬれません。

はっとりメディカルサービス

文責 西川 榮郎(NPO 安全な食べものネットワーク オルター 代表)

アレルギーの専門医が開発した 布団乾燥用バッグ

オルターカタログ(2007年7月1週号)でご紹介した、ダニアレルギーの原因、ヒョウヒダニ対策に取りくむ、耳鼻咽喉科でアレルギー専門医、服部 芳樹医学博士がふとん乾燥用としてたいへん優れた製品「サンバグ」を開発しています。小物用の干物袋もあります。

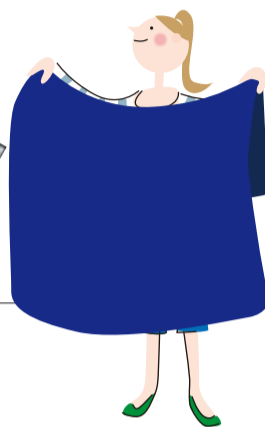
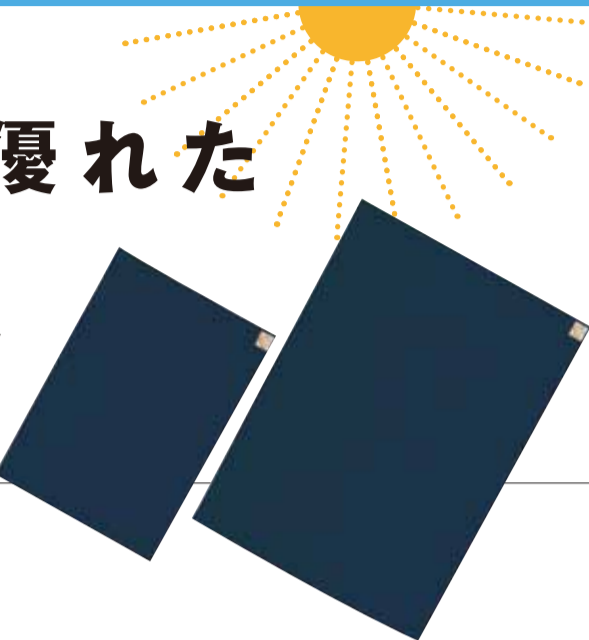
サンバグに入れて陽にあてて干せば、 ヒョウヒダニが死滅します

寝具は、ヒョウヒダニにとって天国であり、一大生息場所です。なぜなら、人間の汗で水分もたっぷりですし、温度も快適、エサとなるフケもいっぱいなのです。したがって、この寝具のダニ対策はダニ問題の中心的課題だと言えます。

ふとんを陽に干すことは、それなりに有効な方法ではあります。その場合、陽の当たる側は十分な効果がありますが、問題は陽の当たらない側です。炎天下の車の屋根にでも干せばともかく、外気温30℃以上の夏の日でも、たたんで干した毛布の内部は30~34℃、日陰面は30℃前後にしかありません。ヒョウヒダニが死滅する温度は60℃なので、30℃前後では、ダニは毛布の日陰側や中心部にもぐりこんで、涼しい顔をしています。

ふとん乾燥機でも同様で、それなりに有効ではありますが完全な対策とは言えません。どうしても温度にムラができてしまうこと、温度だけではなかなか死滅しにくいのです。

はっとりメディカルサービスの「サンバグ」はふとん、寝具専用の干物袋です。サンバグの中には太陽光が入ってきますので、どんどん袋の中の温度が上がり、どんどん乾燥していきます。ダニに対しては、温度以上に乾燥が有効です。



服部 芳樹医学博士

表も裏も、上も下も袋の中は温度が上がり、どんどん乾いていきます。中に閉じ込められたヒョウヒダニは、臨界湿度以下の乾燥に耐えられず、死滅します。

高密度繊維のふとんカバーやシーツはダニを通過させないのでかなり有効ですが、シーツに包まれたふとんや枕の中身にはダニがいます。やはり、陽に干して乾燥させることも必要です。

ダニは死んでも、 その死骸や糞がアレルゲンとなります

サンバグで陽に干したからと言って、即アレルギーが解決と言うわけではありません。なぜならダニは死んでも、その死骸や糞がアレルゲン源となるからです。

したがって、取り入れるときにほこりをよく叩いたり、回転ブラシ付きのふとん用掃除機を1㎡あたり3分以上しっかりかけましょう。

ふとんを敷いたり、ベッドメイキングによって、空気中に舞い上がったチリに対する注意も必要です。窓やドアを完全に開放して作業し、終わってからも十分に換気することです。ふとんやベッドの上でばたばた遊んだり、寝室での着換えをしないことです。

パジャマ、枕カバー、毛布やタオルケット、シーツなど洗濯できるものは洗濯するのが一番です。枕カバーの代わりにバスタオルで枕を包めば、毎日でも取り替えられます。乾燥機で高温がかかればよいし、ユーカリプタスオイルを入れて洗うことはさらに有効です。

トリクロロエチレンなどを使うクリーニング屋から返ってきて、袋に入っているものは、化学物質を揮発させる意味で、

使う前に陽にあてて干すことも必要です。そういう場合にも「サンバグ」を使うことができます。

急な雨にもふとんをぬらすことがありません

「サンバグ」の材質は高密度ポリエステルです。外側は撥水加工していますので、水は外から浸入しません。内からは、水分は外へ抜けますので、内側はよく乾燥します。スキーウェアの材質と同じメカニズムです。急に雨が降ってきても、ふとんがぬれてしまうことはありません。

羽根ふとんも干せます

羽根ふとんは直射日光には干せませんので、通常は陰干しします。しかし、これではダニを退治できません。サンバグを使用すれば、ダニ退治が可能です。

外から花粉や粉塵などが侵入しません

陽なたには干したいが花粉は怖い、という花粉症の方でもサンバグの中に花粉が入ってきませんので、安心です。道路沿い、工場地帯などで排気ガス、粉塵が心配で陽に干せないところでも安心です。

色褪せの心配がありません

羽根布団、クッション、ぬいぐるみまで、汚れたり、色褪せの心配もなく干せます。

バッグの中は見えません

ふとん、毛布、枕、ご婦人の下着まで、人目を気にせず干すことができます。

はっとりメディカルサービスのサンバグ

片側全長ファスナー開閉袋状、特殊加工布製
(大) 150×210cm ふとんが入ります。
(小) 150×100cm 枕、下着など小物用



●使い方

必ずしもロープや洗濯竿に掛ける必要はありません。ベランダでも芝生の上でも、土の上でも干せます。サンバグは水洗いできます。

市販の干物袋の 問題点

市販されているものに、もっと安い干物袋があります。しかし、これらは不織布でできており、洗濯には耐えられず、すぐに機能が低下してしまうものです。